

品川区男女平等啓発誌【マイセルフ】

2023  
秋号  
VOL. 68

# myself

自 分 ら し く

特集

## 誰もが希望を持ち、 可能性に挑戦できる 社会を目指して

— フェアトレードで女性たちの  
未来を切り拓く

INTERVIEW 株式会社スルシィ 代表取締役 関谷里美さん



誰もが希望を持ち、可能性に挑戦できる社会を目指して

— フェアトレードで女性たちの未来を切り拓く…………… P2~5

男女共同参画センターからのお知らせ…………… P6~8

# 誰もが希望を持ち、可能性に挑戦できる社会を目指して

## 特集

### — フェアトレードで女性たちの未来を切り拓く

今回はSDGsの“持続可能な開発目標”を会社の目標に掲げ、開発途上の女性たちに寄り添う、株式会社スルシィ代表取締役の関谷里美さんにお話を伺いました。

株式会社スルシィは「エシカル×フェアトレード」を掲げたバックブランドですが、「エシカル」とはどのようなビジネスですか。

エシカルとは倫理的なという意味なのですが、私の視点で言うと、人や社会、地域とかに配慮した考えや行動、そういうものを指すと認識しております。例えば地域に根ざしたり、環境に配慮したりするこ

とが、人や社会に優しいということに繋がると思いますし、そういうことを意識してビジネスをしています。「すべてが繋がる」というイメージです。弊社で使用している素材のラフィアは天然素材で、ブリーチ材も天然素材を使用しているため、最後は土に還るということで環境に配慮したビジネスだと考えています。

「エシカル」とか「フェアトレード」の理念があまり社会に浸透していないので「エシカル × フェアトレードビジネス」と掲げていますが、敢えて言わずともその理念が当たり前の社会になったらいいなと思っています。

事業を行う拠点としてフィリピンを選んだ理由を教えてください。

前職は青山で25年間雑貨のお店を運営していましたが、13年ほど前に、違うことをするなら今しかないと思い辞めました。残務整理を終えて少しゆっくりしたいと思い、母と一緒に旅行に行ったのがセブ

interview

株式会社スルシィ  
代表取締役

関谷里美さん

島でした。お土産屋で、小中大でセットになったかごを見つけて「1個買って、分ければ3人にあげられる。」と単純にそんな考えでしたが、ふと頭に浮かんだことが「このデザインで、この値段で作り手はいくら貰っているのだろうか？お店の利益、輸送費、仲介者の利益を計算したら一番大変な作り手の方がいくらも貰っていないのではないか」ということでした。

その時はフィリピンのことを全く知らなかったのですが、単純に、「だから貧困から抜け出せないのかな」と思いました。「お土産屋さんでの販売では価格も安いので、作り手に天然素材で良いものを作成してもらい、日本で販売したらビジネスになるのではないかと、作り手の方に対してもしっかりと報酬を支払えるのではないかと考えたことがきっかけです。

ビジネスを始めようと思ってフィリピンに行ったわけではないのですが、前職を辞めて何も考えずに旅行に行ったことがアイデアに繋がったと思います。

フェアトレード事業に取り組む中で、従業員との交流を含め苦労した点や良かったことはありますか。

日本人ではなく現地のフィリピン人とお仕事をしているので、国民性に違いはあります。

例えば約束した時間に来なかったり、返事だけだったりとか。技術指導にも時間とお金がかかり過ぎて「辞めるなら今かな」と不安に思ったこともありました。

フィリピンにかぎ針編みを持ち込んだのは弊社が初めてですが、ラフィア糸をかぎ針編みすることは大変な作業なので、作り手の方は苦労したと思います。

良かったことは、皆さん明るくて性格のいい方が多くて、そういう方々と出会えたこと、人に恵まれ



株式会社スルシィのアトリエでのインタビュー

たことがとても良かったと思っています。

そして、弊社の現地マネージャーもそうですが、安定した収入を得られるようになり、自分は大学に行けなかったけれど、子どもを大学に行かせることができた、というのを目の当たりにしているので、この活動が次の世代へとつながっていくことを嬉しく思います。

エンパワーメントの取り組みとして受刑者への指導を行うことになった経緯や出所後にスルシィで従事している状況などについて教えてください。

現地マネージャーの紹介で行ったと記憶していますが、刑務所へ行くことに否定的な気持ちはなかったのですが、ハサミや針を扱うのは危なくないかなと不安に感じていました。でも実際に行ってみるとそれは杞憂だったことがわかりました。受刑者のみなさんはとにかく明るくて、運動不足解消のために一緒に踊ったり、和気あいあいとした雰囲気でもとてもオープンな印象を受けました。

受刑者の罪状の多くはドラッグで、受刑期間が長いということがあります。やはりドラッグは手取り早く収入を得られるということで多数を占めているようです。

受刑中に編み物のトレーニングをして、即戦力と



して力になってもらえることと、再犯を防ぐためにも出所後にはスルシィで働けるように受け入れ態勢をとっています。他の従事者も差別することなく迎入れる環境は整っています。

けれども全員ではないですが、仕事が続かない、難しいというのが現状です。一度ドラッグなどで簡単に収入を得ることを覚えてしまっているため、再犯を繰り返してしまう人もあることが一つの問題としてあります。

### フィリピンの女性と仕事をする中で感じたことはありますか？日本人との違いはありますか？

日本人の女性と簡単に比較できませんが、フィリピンの女性たちはとにかく明るくて優しいので一緒に仕事をするのは、とても居心地が良いと感じています。ただ欠点もあって、前に注意したことが全くできていないとか、何故この商品が検品をスルーしたのかと疑問になることもあります。本来は作り手の方が気付くべきところをスルーして、クオリティチェックの担当もスルーしてしまって日本に届いてしまうということも多々あります。失望すること

も多いのですが、それでも許せてしまうという感情があります。また、作り手の方がいないとビジネスが成り立たないので、一つの歯車としてではなく、大切な一員として考えています。

食生活は改善した方がいいと思います。過食が多く糖尿病とかも蔓延していますし、日本と違って保険制度もないので病気になっても病院になかなか行けないということもあるので、心配な部分ですね。

日本は病気を未然に防ぐという目的で健診などを自治体で行っていますが、フィリピンにはそういう制度がありません。各個人が気をつける必要があるのですが、健康に対する意識を持ってほしいと感じます。過食の原因の一つには貧困の影響も大きいのではないかと思います。

仕事への取り組み方や姿勢に対する考え方も日本人とは違うという印象を持っています。例えば急に入った仕事に対して、お給料を割り増しで払うから対応してほしいと要望しても、フィリピンの方はお金とか収入が一番ではないということがあります。

### フィリピンの女性の立ち位置や現状を教えてください。

フィリピンの女性は強いと思います。生活を支えている女性も多いですし、職業も校長先生や学校の先生、銀行員も女性が多いと感じます。そういう収入のある人がベビーシッターや運転手などを雇用し、雇用される人も活躍できるそんな社会構造になっていて、上手くできていると感心します。日本より働きやすく住みやすいのではないかと感じています。

また、子どもが何人いても大丈夫な感じで、一人で育てるのではなく、周りのみんなで面倒を見て、助け合って育てるとい

うような風潮があるので、総じて日本よりも子育てしやすい環境だと思います。

### 「スルシィ」という企業を成長させていく中で最も大切にしていることはなんですか。

作り手の方の大半は、本当に小さなコミュニティの中で生活している方が多くいます。洗濯やベビーシッターなど日常の作業を僅かな収入源にしている方たちもいて、もちろん日本人と出会ったことなど無い人が多数で、日々の生活を送る以外に特別なことは考えていなかったと思います。毎日食事ができて、生活できればいいという考えで、自分のことを考えることもない方が多いと感じます。

そういう状況の中で、自分に限界を作らないで可能性があることを少し示してあげられたら、色々な意味で広がっていくのではないかと感じています。

私自身もハイブランドとコラボしたいという夢があります。実際に働きかけもしていますが、夢を現実にするのは大変なので、少しずつ夢に向かって進んでいきたいと思っています。

そして作り手の方たちにもチャンスや可能性は誰にでもあるということを、身をもって伝えていけたらと思っています。

### 最後にマイセルフの読者に一言お願いします。

自分で境界線を作らず、何事にも挑戦してみることが大事だと思います。無理とか難しいとかは挑戦してみないとわからないので、まず挑戦して、うまくいかなかったらそこで考えればいいのではないかと感じています。若い方だったら海外に出てみることもおすすめします。英語は話せた方がいいですし、活字を読むこともおすすめします。また、年齢は関係なく40代でも50代でも、いくつの方でもすべての人に可能性があると思うので、「まず一歩を踏み出してみてください」と伝えたいです。

## 編集後記

独自にブランドを作られた女性起業家の方のお話を生で聞くことができ、たいへん勉強になりました。中でも、エシカルなどを目標として掲げる必要がないくらい当たり前の社会になったら良いというふうに答えていただいたのが印象的でした。今の段階で決して当たり前とは言えないことを、自分から訴えていくことは簡単ではないことだと考えました。そのため、それを成し遂げて今も事業を進めている姿に感銘を受けました。始める前に語ったり、やってもいいことの限界を作ったりせず、何事にもチャレンジして向き合っていくことの重要性に気づくことができました。

(浦原夏花)

普段の生活の中でフェアトレードの商品を見かけることはありますが、実際に携わっている方のお話を聞くことは初めてであり、編集に携わりながら様々なことを学びました。特に、日本とフィリピンの違いについてのお話が印象に残っています。違う国の方と一緒に活動する際には、国民性の違いを受け入れ、尊重することが大切だと改めて感じました。また、自分に限界を作らないで可能性があることを示してあげたいとお話されていたことも印象に残っています。自分も、限界を作るのではなく、可能性に気づいたり、気づかせることが出来る人になりたいと思いました。

(米樹結菜)

元々ビジネスを通して社会貢献を行っているスルシィさんに興味があつたので、今回マイセルフの活動を通してお話を伺うことができ、大変嬉しく思いました。近頃よく、SDGsやエシカルなどの言葉を聞きますが、そんな言葉や活動が当たり前になって、敢えて言わなくてもいい社会なることを願う、という関谷さんの言葉が印象的でした。関谷さんのお話は、いつ、どんな場面のお話も挑戦的で刺激的で、インタビューの時間があつという間に過ぎてしまうくらい楽しかったです。「知る」ということが物事のきっかけになると考えます。このマイセルフの活動が、読者の皆様の何かのきっかけとなることを願います。

(三好未緒)



清泉女子大学 編集委員のみなさん

質問は丁寧にわかりやすく答えていただきました。

# 男女共同参画センターからのお知らせ

## 男女共同参画推進講座報告

■ 令和5年7月24日(月) 14:00~16:00/会場参加14名、オンライン参加23名

『アンガーマネジメント講座 ~怒りの感情との上手な付き合い方~』  
怒りをぶつけるのではなく、適切に表現できることを目指します。

【講師】江野本 由香氏 (日本アンガーマネジメント協会認定 アンガーマネジメントコンサルタント)

【参加者の感想】

- 怒りのメカニズムについて理解できた。
- 自分の行動を振り返る良い機会になりました。



■ 令和5年8月5日(土) 14:00~16:00/会場参加3名、オンライン参加6名

『デートDV講座 親向け・若年層向け』

子どもたちを加害者にも被害者にもさせない。  
お互いが尊重し合う関係となるために知っておきたいこと。

【講師】西尾 恵子氏 (デートDV予防ファシリテーター CAPスペシャリスト)

【参加者の感想】

- 恋愛ってどういうものか、尊重のある・ない会話の事例がわかりやすかったです。
- アイメッセージを上手に利用することを学びました。



■ 令和5年8月19日(土) 14:00~16:00/会場参加4名、オンライン参加17名

『リプロダクティブ・ヘルス/ライツ講座 女の子を育てる親向け・若年女性向け』  
女の子とその親が知るべきセクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツって？

【講師】林 末由氏 (公益財団法人ジョイセフ 国内事業グループ プログラム・オフィサー)

【参加者の感想】

- 日本の性教育や中絶後進国の話も聞けたので、改めて各家庭の性教育の重要性を感じました。
- 自分のからだのことや受けられるリプロ関連のサービスや措置のことを知らずにいることがよくわかりました。



■ 令和5年9月4日(月) 14:00~16:00/会場参加7名、オンライン参加4名

『DV講座』

パートナーからの暴力(DV)に気づく。  
これって普通なの？知って、気づいて行動するために。

【講師】河西 ひとみ氏 (NPO法人女性ネットSaya-Saya 理事)  
上原 裕子氏 (NPO法人女性ネットSaya-Saya DV・性暴力相談支援員)

【参加者の感想】

- 家族間でDVをしていたことに気づきました。
- 色々な事件が多い社会、もっと多くの人が関心を持ってくれたらなと思いました。



## 講演会報告

■ 令和5年8月26日(土) きゅりあん 小ホール/会場参加32名、オンライン参加20名

人権尊重都市宣言30周年「マイセルフ品川プラン」啓発・促進講演会  
『女子サッカー選手です、彼女がいます。』

「普通って一体なんだろう？だれもがりのままでいられる社会に向けて、わたしたちはなにが出来るのか一緒に考えてみませんか？」をテーマとし、サッカー選手「大和シルフィード」、株式会社 Rebolt 共同代表 下山田 志帆さんを講師に迎え、ご講演いただきました。

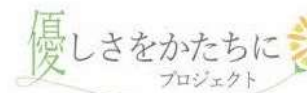
【講師】下山田 志帆氏

【参加者の感想】

- 普通や当たり前にとらわれず、誰かの幸せのために、ということを常に意識したいと思いました。
- カミングアウトの必要のない世界をつくることに協力していきたいと思いました。



## ～優しさをかたちにプロジェクト～



生理用品の入手が困難な方に防災備蓄品を活用した生理用品を区内施設6カ所が無償配布しています。

【配布対象】

生理用品の入手が困難な区民の方  
(性別・年齢を問いません)

【配布方法】

申し込み手続きなどはありません。  
配布場所に設置した専用カードまたはホームページの画面を窓口でご提示ください。

【配布場所】

- ① 男女共同参画センター(東大井5-18-1)
- ② 子育て応援課(区役所 本庁舎7階)
- ③ 暮らし・しごと応援センター(区役所 第二庁舎3階)
- ④ 品川保健センター(北品川3-11-22)
- ⑤ 大井保健センター(大井2-27-20)
- ⑥ 荏原保健センター (西五反田6-6-6)



パブリックコメント  
募集のお知らせ

- テーマ: 「(仮称)ジェンダー平等を推進するための条例に盛り込むべき考え方」について
- 期 間: 令和5年10月12日(木)~令和5年11月10日(金)

区では、すべての人が、性別、性的指向、ジェンダーアイデンティティにとらわれず、多様性を認め合い、人々がそれぞれの意思に応じて、あらゆる分野で活躍できる「ジェンダー平等」の視点に基づき施策を推進するために、区としての姿勢や考え方を明確にし、今後の取組みの指針とするため、新たな条例制定に向けた検討を進めています。SDGsの目標である「ジェンダー平等の実現」に向けて、(仮称)ジェンダー平等を推進するための条例に盛り込むべき考え方について、パブリックコメントを実施いたします。皆様のご意見をお寄せください。

詳しくは10月11日号掲載の広報しながわ、品川区ホームページをご覧ください。

男女共同参画推進フォーラム2023 入場無料

# 中止になりました。

女性相談員による相談室 無料

人間関係、家族の問題、配偶者や恋人などからの暴力(DV)や心や生き方、セクシュアリティなどの悩みごと、また離婚、相続等、法律に関することなどお気軽にご相談ください。 **(性別問わずどなたでもご利用ください。)**

※原則、品川区在住の方が対象です。

**面接相談** 事前予約が必要です。 予約電話：**5479-4104** ※予約受付時間：平日午前9時～午後5時

	相談時間	10月	11月	12月	1月	2月	3月
法律相談	午後1時～3時30分	4日 (水)	1日 (水)	6日 (水)	10日 (水)	7日 (水)	6日 (水)
	午後1時～3時30分	10日 (火)	14日 (火)	12日 (火)	16日 (火)	20日 (火)	12日 (火)
	午後5時30分～8時	16日 (月)	20日 (月)	18日 (月)	22日 (月)	26日 (月)	18日 (月)
カウンセリング 相談	午後1時～4時	26日 (木)	30日 (木)	21日 (木)	25日 (木)	22日 (木)	28日 (木)
DV相談	午後1時～4時	6・20・ 27日 (金)	17・24日 (金)	1・15・ 22日 (金)	5・19・ 26日 (金)	2・16日 (金)	1・15・ 22・29日 (金)
	午後5時30分～ 8時30分	13日 (金)	10日 (金)	8日 (金)	12日 (金)	9日 (金)	8日 (金)

**電話相談** 予約不要。

カウンセラーによる電話相談 相談専用電話：5479-4105

毎月第1・2・5木曜日 午前10時～午後3時30分

毎月第3木曜日 午前10時～午後7時30分

※ただし、木曜日が祝日の場合はお休みや日時変更となります。

法律相談【弁護士】……………法律に関すること  
 カウンセリング相談……………こころと生き方の  
 【カウンセラー】……………悩みごとなど  
 DV相談【専門相談員】……………DVに関すること  
 ※男性のDV相談は事前予約のうえ電話相談となります。